

広報班突撃取材

山笑う季節・紀泉アルプス

まないたいしやま だいふくやま

俎石山・大福山へ



爽やかな風が吹き、黄緑色の新芽がきらきら輝くこの季節。
いざ、絶景を求めて山歩きに行ってみませんか。

特集

レッツゴー!!



◎秘書広報課 (内線2506)

ハイキングコースがあることは
知っているけれど…

いざハイキングに行くとなると、どこから山に入るのか、自分でも歩けるのか、と最初の一步を踏み出すのは難しいですね。

本市にはとてもすてきなハイキングコースがあります。

今月は皆さんに俎石山・大福山の魅力をご紹介します。

鳥のさえずりを聞きながら、山を吹き抜ける風を感じながら山歩きを楽しんでみませんか？



桃の木台4丁目バス停からさらに登ると、俎石山の入り口に通じる柵があります。

柵を超えて坂道を上ると、カツラの木が植えられ、ハート型に似た円形のかわいい葉っぱから甘い綿あめのような香りがします。

でも、そこはまだ入り口ではありません。



どんどん歩き進め、少し下るとまた柵が見えてきます。「入っていいのかな？」と思いますが、柵をくぐり、道を進むと小川が流れてます。そこに、俎石山の入り口があります。



ハイキングスタート地点から、もうすでに山の木々のいい香りに包まれ、清々しい気持ちになります。

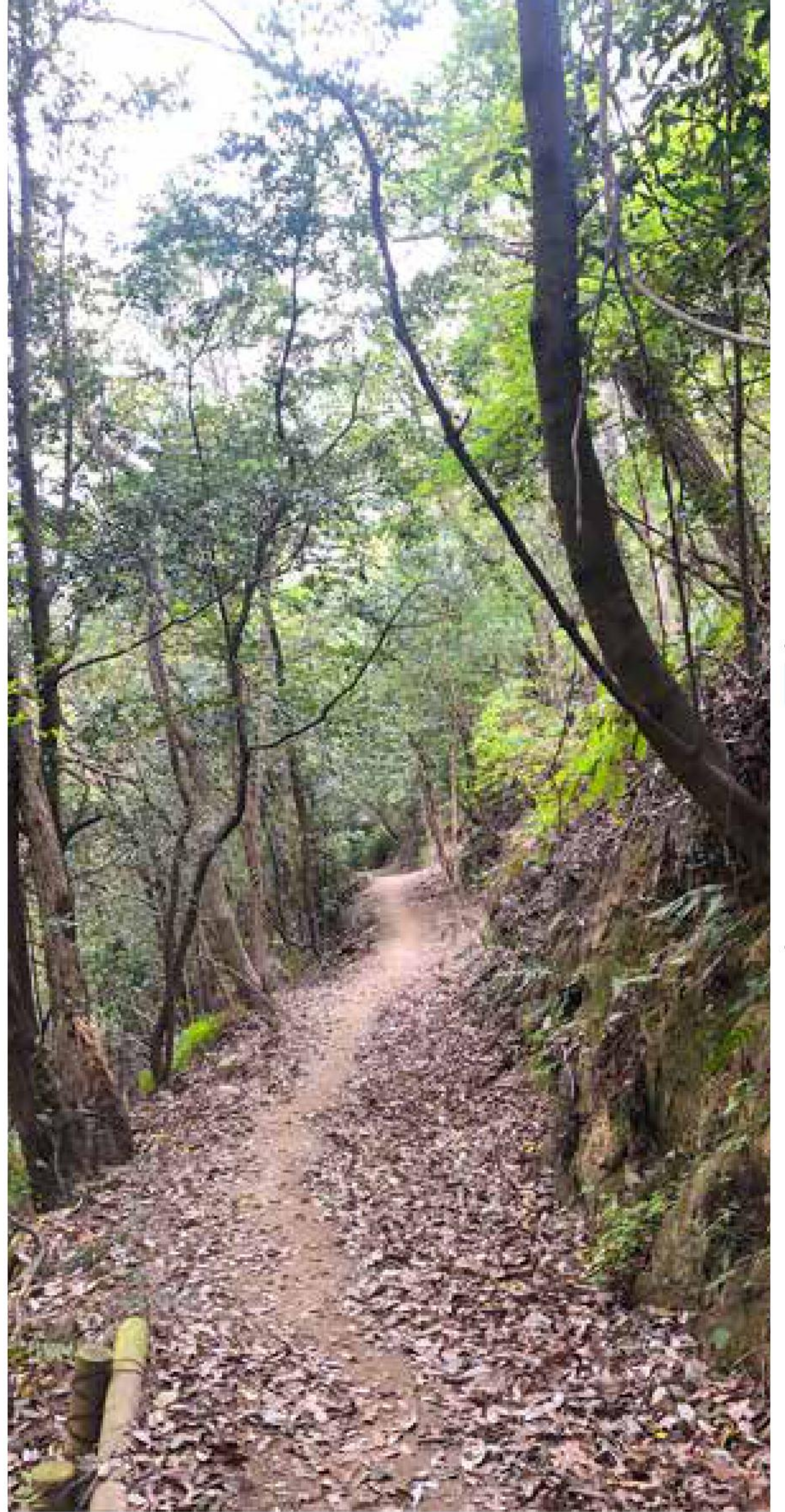
▼アカメガシワ



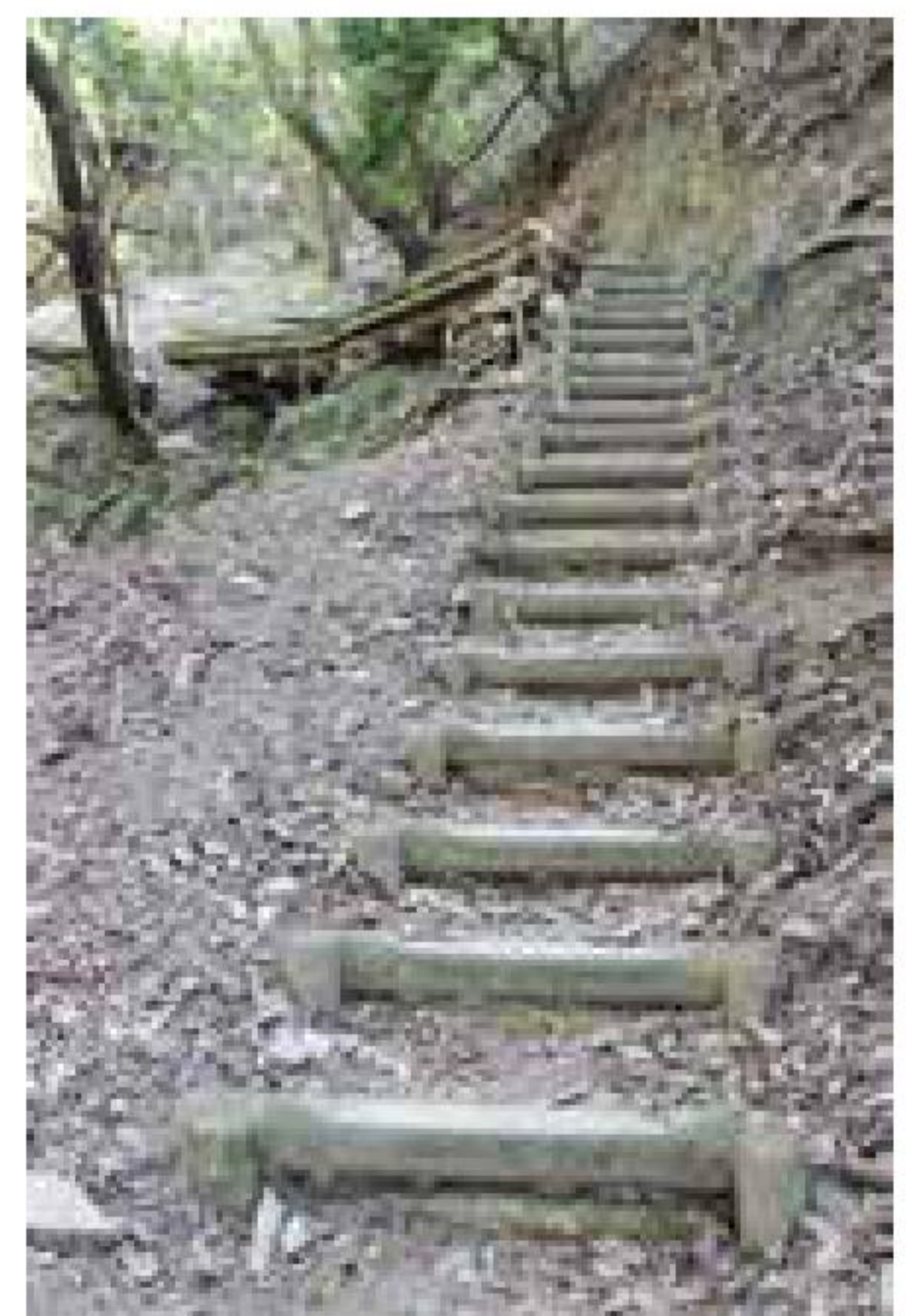
本市ウェブサイト及びマチイロアプリでは写真をカラーで見ることができます。

マチイロアプリ▶





2000段ほどの「鬼の階段」



してくれました。
なるほど、山頂まで登りきるだけ山歩きではないのだ、と目からうろこが落ちる気がしました。



その後も、ニガイチゴ、マルバアオダモ、ミヤマシキミ（葉っぱをちぎるとミカンの匂いがします）などを見たり触ったりしながら楽しく歩き続けました。

入り口を入ったところで、ハイキング帰りの男性に出会いました。俎石山を頻繁に登る人は多いようです。山歩き未経験者にはとても嬉しい出会いでした。

優しい色味のマムシグサは目立ちにくいですが、サトイモ科の多年草で林下の日陰に生えています。さらに歩き進むと右手に小さな池が見えてきます。
水面に木々の緑が反射してとてもきれいです。ウシガエルや大きなオタマジャクシの姿も見えました。

ゆるい坂道を抜けると、突然目の前に長く続く階段が立ちはだかります。
どこまで続くのか分からないので引き返したくなりますが、このコースで最難関は約2000段の階段だけです。頑張って登ることにしました。
左手に小川のせせらぎを見ながら階段をひたすら上ります。
途中で休憩するベンチも有り、休み休み登ることが出来ます。
階段を上りきると、その先に休憩ができる広場（通称「ぶらんこ広場」・以前、木にブランコがあったそうです）のベンチでまた休憩してから、ゆるゆると登っていくと、今度は女性のハイカーに出会いました。

よくこの山を歩いていると言うその女性は、その時々で山頂まで登り切ったり、途中で引き返したりして山歩きを楽しんでいると話



▲タチツボスミレ
マムシグサ▶



▲ヤブツバキ



▲ニガイチゴ



◀マルバアオダモ



▲ミヤマシキミ



俎石山山頂から大福山へ

ついに俎石山の山頂に到着。既に達成感で満たされていましたが、残り900メートルで大福山山頂と看板があり、そこからもうひと頑張りして大福山山頂をめざします。



山の下から吹き上げてくる風を心地よく感じながら、尾根を歩くこと約20分。大福山山頂に到着しました。傍らにひっそり咲く春蘭や眼下に広がる山並みを見ながら食べるお弁当に舌鼓を打ち、整備されたベンチで体を休めます。

▼シュンラン（春蘭）



▲カゴノキ（鹿子の木）

同じ道を通って下山します。同じ道のはずが、進む方向が違うだけで、全く違う景色が見え、新鮮な喜びを感じることが出来ます。北展望台からは阪南市を一望することができ爽快でした。心地よい疲れもあり若干静かに山を下ります。

「鬼の階段」を下る時は、上りよりも段差があるように感じます。入ってきた道に戻り、柵をくぐりハイキングを終えました。ハイキングの途中、山道でつまづきそうな木の枝や石などを端に除け、歩きやすくしてくれている人に出会いました。

山を大切にしている人達の優しさや、大自然にも触れ、本当にすてきなハイキングでした。皆さんもぜひ、俎石山・大福山を体験してみませんか。



一緒に海や山で自然を守る活動をしませんか？



◀ 今回、俎石山・大福山のハイキングに同行して下さった、「自然と本の会」の会員で「森林インストラクター」でもある黒田さん。

本市では毎年11月頃に「自然と本の会」の人たちと一緒に、クリーンハイキングを行っています。一人でハイキングを始めるには…という人は、まずはクリーンハイキングから初めてみませんか？ 詳しくは秋頃に本誌でお知らせします。



自然と本の会のメールはこちら▶

